

経済動向調査レポート

令和3年 第2四半期

(調査対象：令和3年4月～6月)

福崎町商工会

令和3年8月

【目次】

I. 経済動向のポイント	2
II. 兵庫県の経済・雇用情勢	3
1. 概況（全体の状況）	3
2. 県内の主要業種の概況	7
3. 地域の概況	8
III. 景況調査	14
1. 景況調査について	14
2. 概況（全業種）	15
3. 業種ごとの集計	18
①製造業（有効調査数：163件）	18
②卸売業（有効調査数：44件）	19
③小売業（有効調査数：60件）	20
④サービス業（有効調査数：64件）	21
⑤建設業（有効調査数：78件）	22
⑥不動産業（有効調査数：28件）	23

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

I. 経済動向のポイント

【1】兵庫県の経済・雇用情勢

① 兵庫県の経済・雇用情勢は、持ち直しの動きが緩やかで、引き続き厳しい。

景況等・個人消費・生産・賃金は持ち直しの動きがあるが、一部に弱さがあり、足踏みや横ばいである。一方、輸出は増加し、設備投資も堅調で、倒産件数も前年を下回った。

② 県内の主要業種は、各種商品小売業の景況感が悪いが、その他製造業の景況感が良い。

イエナカ需要で雑貨や家具・家電などは好調だが、アパレル・飲食は厳しい状況にある。その他製造業の海外は、中国が景気回復で非常に良く、北米・豪州も順調である。

③ 各県民局・県民センターを代表する業種では、景況感にばらつきがある。

福崎町を管轄する中播磨県民センターでは、飲食料品小売業において、近隣の店舗では取り扱っていないような嗜好性の高い商品の売れ行きが堅調である。

【2】景況調査

① D.I（ディフュージョン・インデックス）による分析。

D.Iとは景況の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示しており、地域別・業種別の分析指標としている。

② 2021年4月～6月の全地域の景況感は、依然低迷しているものの、若干持ち直しが見られる。

朝来・神崎地域の業況D.Iは9.19ポイント上昇の▲21.84となっており、2021年7月～9月期予想では、2.3ポイント上昇の▲19.54である。また、福崎町商工会の業況D.Iは上昇傾向にあるが、依然マイナスの厳しい状況にある。



③ 製造業・不動産業・小売業・卸売業が上向き、サービス業や建設業は低下している。

但陽信用金庫の取引先全地域の6業種（製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業）の調査では、2021年4月～6月期の全地域における業況D.I実績では、製造業・不動産業・小売業・卸売業が上向き、コロナウイルスの影響が大きいサービス業や、建設業は低下している。2021年7月～9月期予想では、サービス業・不動産業・卸売業が改善、建設業が横這い、製造業・小売業が悪化予想となっている。

【3】中小企業診断士からのコメント

朝来・神崎地域の2021年4月～6月期の業況は、前回（3ヶ月前）の予想値よりも改善しており、今後も回復予想となっている。しかし、兵庫県内では業種や地域によるばらつきが依然として大きい状態が継続している為、国や地方自治体の支援策を活用しながら、自社の強みを生かせる打開策を、それぞれの事業者が考えていく必要がある。

（令和3年9月18日 中小企業診断士 荒木慎吾氏）

II 兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和3年8月27日）から引用）

1. 概況（全体の状況）

本県の経済・雇用情勢は、持ち直しの動きが緩やかとなっており、引き続き厳しい状況にある。
 景況等...企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが残る。
 需要...個人消費は、足踏みの動きとなっている。
 輸出は、増加している。設備投資は、減少計画にあるものの堅調である。
 生産...生産は、横ばいとなっている。
 雇用...有効求人倍率は、前月を上回った。賃金は弱い動きとなっている。
 金融...倒産件数は、前年を下回った。

主要指標の推移

④ 景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

区分	R2.9月	R2.12月	R3.3月	R3.6月(現在)	R3.9月(予測)
全産業	▲31	▲19	▲10	▲7	▲11
大企業	▲22	▲9	7	14	9
中堅企業	▲21	▲17	▲9	▲11	▲13
中小企業	▲39	▲26	▲19	▲16	▲20
うち製造業	▲37	▲23	▲6	▲5	▲10
うち非製造業	▲23	▲15	▲14	▲10	▲13

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

⑤ 需要

項目	R1年度	R2年度	R3.3月	4月	5月	6月	7月
商業販売額：億円	17,753	17,960	1,551	1,424	1,429	1,474	－
（前年度比増減率%）	(+0.9)	(+1.1)	(+2.3)	(+7.6)	(▲0.5)	(▲4.7)	(－)
乗用車販売台数：台	167,298	152,809	19,809	12,018	10,369	12,179	12,152
（前年度比増減率%）	(▲5.4)	(▲8.7)	(+8.7)	(+40.0)	(+58.3)	(+15.3)	(▲5.4)
新設住宅着工数：戸	31,567	30,551	2,400	2,620	2,245	2,597	－
（前年度比増減率%）	(▲0.7)	(▲3.2)	(▲16.3)	(▲19.4)	(▲1.8)	(▲4.4)	(－)
神戸港輸出額：億円	53,652	49,756	5,335	5,127	4,279	5,312	4,936
（前年度比増減率%）	(▲8.4)	(▲8.4)	(+10.1)	(+23.1)	(+30.7)	(+43.0)	(+20.0)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項目	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(計画)
設備投資額	▲8.1	+0.8	▲1.2	+2.4	▲8.4
前年度比増減率：%					

③生産

項 目	R1 年度	R2 年度	R3.2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
鉱工業生産指数：H27=100 (前月比増減率%)	103.8 (▲0.1)	93.1 (▲10.3)	94.9 (▲1.8)	100.6 (+6.0)	97.0 (▲3.6)	95.0 (▲2.1)	96.0 (+1.1)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

⑥雇用

項 目	R1 年度	R2 年度	R3.2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
有効求人倍率(季節調整値)：倍	1.38	0.97	0.94	0.94	0.93	0.94	0.97
新規求人数(原数値)：人 (前年度比増減率%)	33,517 (▲6.9)	26,815 (▲20.0)	27,516 (▲15.3)	29,735 (+4.8)	27,159 (+13.8)	23,629 (+1.3)	28,328 (+1.3)
現金給与総額：円 (前年度比増減率%)	312,795 (+2.7)	301,652 (▲3.6)	245,018 (▲3.2)	263,300 (+0.6)	265,361 (+1.1)	263,245 (+1.2)	433,412 (+5.2)

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

⑤金融

項 目	R1 年度	R2 年度	R3.3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
企業倒産件数：件 (前年度比増減率%)	471 (+10.3)	396 (▲15.9)	27 (▲22.9)	21 (▲51.2)	21 (+110.0)	41 (▲16.3)	32 (▲23.8)
企業倒産負債総額：億円 (前年度比増減率%)	498 (▲13.9)	590 (▲18.5)	34 (+39.7)	13 (▲79.5)	27 (+35.4)	22 (▲32.5)	50 (+151.4)

(出所) 兵庫県企業倒産状況 (東京商工サーチ神戸支店)

(参考1)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・個人消費は、サービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、緩やかな増加が続いている。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。
- ・消費者物価は、このところ底堅さがみられる。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(令和3年8月26日 内閣府「月例経済報告」)

(参考2)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられているものの、輸出や生産が牽引するもとで、全体としては持ち直している。

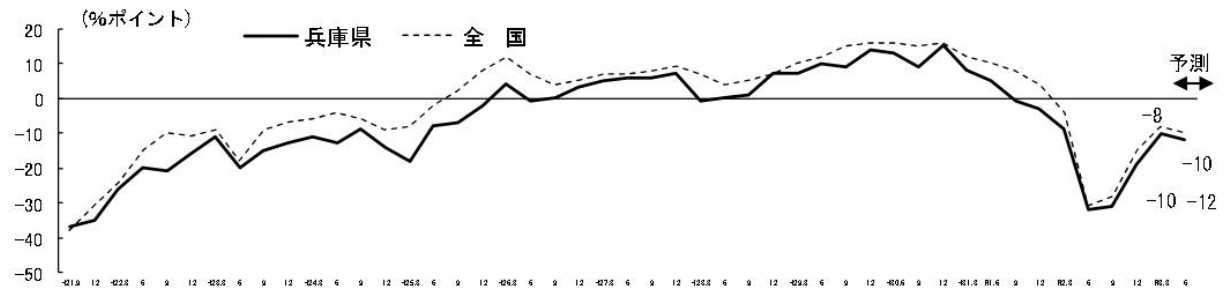
個人消費は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。輸出は、増加している。

こうした中、生産は、緩やかに増加している。一方、労働需給は、有効求人倍率が1倍を下回るなど、感染症の影響により、緩んでいる。雇用者所得は、弱めの動きとなっている。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を下回って推移している。

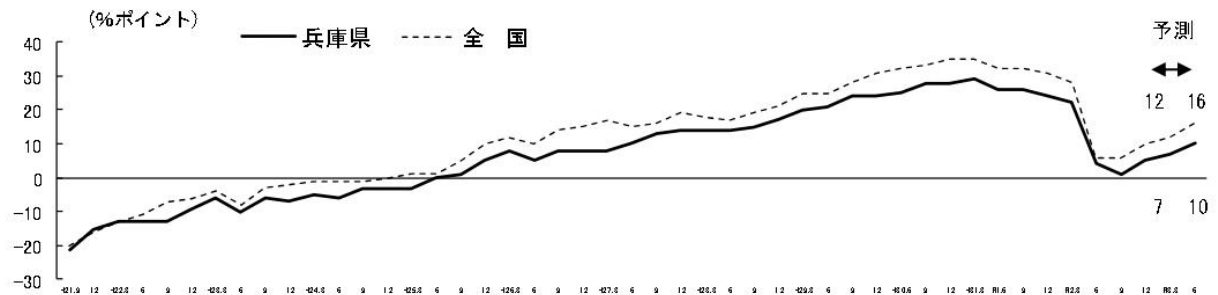
(令和3年7月12日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移

業況判断DI (良い-悪いの推移)



雇用人員判断DI (不足-過剰の推移)

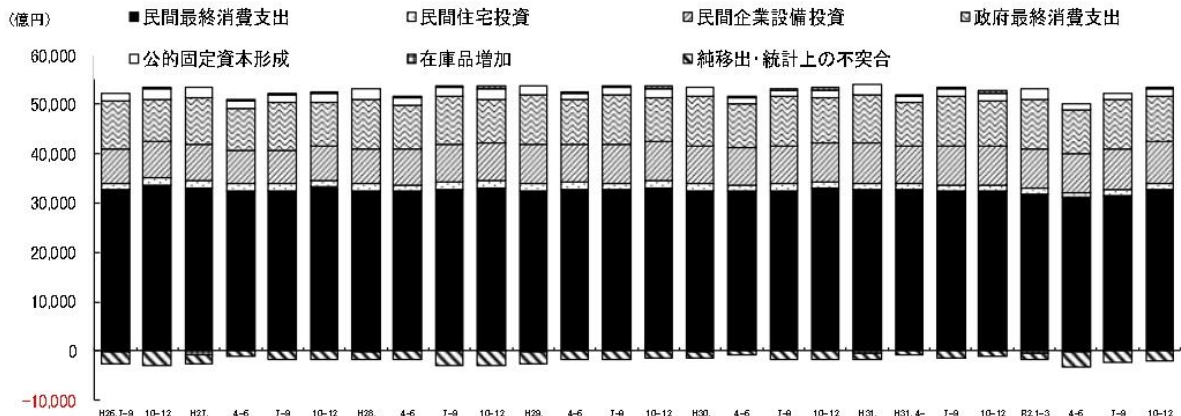
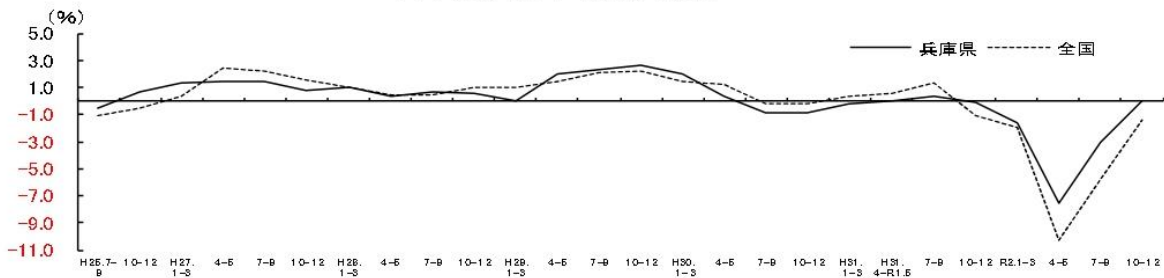


出所：令和3年6月全国・県内企業短期経済観測調査(日本銀行、同神戸支店)

GDP

実質GDP (R2.10~12期) は、民間最終消費支出が5期ぶりにプラスに転じ、民間企業設備投資及び政府最終消費支出が引き続きプラスで推移したものの、民間住宅投資、公的固定資本形成がマイナスで推移し、対前年同期比は0.0%と横ばいとなった。

四半期別GDP(実質)増減率



出所：四半期別GDP速報(内閣府)、四半期別県内GDP速報(県統計課)

兵庫県・四半期別GDP(実質)(億円、増減率%)

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
GDP(実質)	202,649	207,107	206,201	204,105	199,667
前年度比	0.4	2.2	▲0.4	▲0.5	▲2.7

	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3
GDP(実質)	52,093	50,683	51,590	51,533	51,300	46,927	50,048	51,604	51,088
前年度比	▲0.4	▲0.3	0.1	▲0.5	▲1.5	▲7.4	▲3.0	0.1	▲0.4

兵庫県・四半期別GDP(名目)(億円、増減率%)

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
GDP(名目)	208,926	212,680	211,778	211,679	207,145
前年度比	0.2	1.8	▲0.4	▲0.0	▲2.1

	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3
GDP(名目)	52,981	52,740	52,392	54,046	52,501	49,473	51,297	54,139	52,237
前年度比	▲0.3	▲0.1	0.6	0.2	▲0.9	▲6.2	▲2.1	0.2	▲0.5

注1) 今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。

また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。

前年度比は原数値の増減を示す。

注2) 数値は、平成23年基準値となっている。

注3) 29年度までの年度数値は「県民経済計算」(県統計課)

2. 県内の主要業種の概況

業種	概況
各種商品 小売業	緊急事態宣言・まん延防止等重点措置があったこともあり景況感 は悪い。4-6月の売上は、昨年4-5月休業していたことにより同 期比で130%程度増加しているが、一昨年と比較すると厳しい状 況。7月のセール期で土日の売上は回復してきているが平日は厳し い。イエナカ需要で雑貨や家具・家電などは好調だが、アパレル、 飲食は厳しい状況にある。商業施設と連携しているECサイトの売 上はイエナカ需要が好調で昨年度に比べ約2倍になっている。シェ アオフィスを増やし、PC貸与など、どこでも仕事をできるように環 境を整えている。
その他 製造業	国内・海外ともに順調で足もとの景況感が良い。海外は、中国が景 気回復で非常に良い。北米・豪州も順調。新型コロナウイルスの影 響は昨年1-3月が国内・海外ともに厳しく、4月以降は安定して きている。今年の4-6月期は昨年同期比で売上・利益とも増加し ている。原材料である銅の価格が昨年7月以降値上がりし、今年に

	入ってさらに厳しい状況となっている。半導体不足の影響で製品の納期遅れが生じている。脱炭素に向けて電気とガスのハイブリッド製品に力を入れる。
--	---

令和3年7月 兵庫県産業労働部調査

3. 地域の概況

地域	業種	概況
神戸	その他 卸売業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により海外販売ルートが大幅に制限された昨年は、業界全体の輸出額が一昨年の4分の1程度にまで落ち込んだ。</p> <p>このような中で、リモート商談による輸出売上が伸びてきていることと国内販売の若干の復調もあり、現在の景況感は、全面的に悪い状況からは脱しつつある。同社では、新型コロナウイルス感染症が収束した後に販売機会が急回復する時期を見据えた設備投資を行い、製造工程の高度化に磨きをかけている。</p>
	化学工業	<p>国内販売状況(3-5月)は、2019年の同期比並にまで回復してきた。また、各国での自動車生産の回復を背景とした海外販売状況も堅調である。利益率で見ると、数量増による固定費率の低下等により、2021年第1四半期はここ3年で最高水準となり、現状の景況感は良い。しかし、半導体供給不足による自動車生産の抑制や原材料高など不透明な要素があり、先行きはどちらとも言えない。今後は、SDGsをより意識した事業活動の展開やDXの推進に努め、コロナ後の需要の変化に合わせた新商品開発に取り組む。</p>
阪神南	紙加工品 製造業	<p>今年度に入り少しずつ景気の復調が見え始めた感があるが、客先ごとに復調の度合いが異なるため、案件数と売上額は昨年対比でマイナスを継続している。今年度中に全ての業界が復調することは難しいと思われ、引き続き厳しい状況が続くと予想される。</p> <p>今年度になってからの緊急事態宣言の解除や規制緩和に伴い、販促やSP(セールスプロモーション)業界の復調を限定的ではあるが実感している。こうした中で案件数と売上額は、昨年対比で20%以上のマイナスが継続している。オリンピック開催による経済効果も当初の予想をはるかに下回り、各企業のSP費削減が下半期も継続されており、主力商品事業も厳しい状況が見込まれる。</p>

阪神南 (続き)	食 料 品 製 造 業	<p>コロナ対策の対象が飲食店ということもあり外食関係向け商品の動きが非常に悪く、また、お中元シーズンに百貨店等が閉店していたことにより贈答商品の動きも悪い状況である。トウモロコシが国際的な不作のため、それを原料とする原料（糖化製品、アミノ酸液、グルタミン酸ナトリウムなど）の値上げが著しく約10%強の値上げとなっている。砂糖も今年に入ってから2回値上げされており、約5%の値上げとなった。また、原油価格の上昇に伴い重油が上がっている。同社は調味料を製造しており、こうした状況でも、製品の価格は据え置かれるため利益率の減少が著しい。</p>
阪神北	各 種 商 品 小 売 業	<p>景況感は足もと、先行きともにさほど良くない。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、7~9月期の売上は昨年同期と比して回復のきざしはあるものの、業務用燃料の出荷が落ち込んでいるため、このまま時短営業が継続されるならば今期の収益減少は否めない。また原油価格の高騰により各種石油燃料の個人消費の落ち込みも懸念材料である。</p>
	金 属 製 品 製 造 業	<p>昨年夏以降は自動車及び半導体関連向けの受注が回復し、製品によってはコロナ以前よりもオーダーが増えているものが多くなっている。しかしながら、銅素材や樹脂素材などの一部素材によっては値上げのみならず、納期が逼迫する状況が今年に入り続いている。そのため、受注はできても素材が入らないことによる売上減などが起こる可能性を想定している。このまま受注が堅調であり材料の確保ができれば、本年（1~12月）の昨年対比売上額は20%増となる見込み。</p>
東播磨	食 料 品 製 造 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により自社店舗での売上は戻っていないが、販売店や問屋等からの受注が増加しており、景況感の良い。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により技能実習生が日本に来られず、現在いる実習生の期間を延長することで生産態勢を維持している。老朽化した製造設備については、現在更新の計画を行っている。原材料価格が上がりつつあるため、動向を注視している。</p>
	食 料 品 製 造 業	<p>長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用製品の売上が戻らないことに加え、原材料価格も上昇傾向であり、景況感はさほど良くない。個人向けの販売強化策として、ECサイトのリニューアルやSNS活用に注力している。今年度の採用活動については、最終まで</p>

		<p>全ての面接をオンラインで行ってきたが、 会社の雰囲気伝わりづらい等の課題もあり、次回以降の実施方法を検討している。</p>
北播磨	各 種 商 品 小 売 業	<p>運営するショッピングモールは、新型コロナウイルス感染症の影響で、来店する客数自体が昨年から減少したまま回復しない。そのためテナント等の売上や収益が10%以上減少したままで景況感は悪い。食料品を中心とした巣ごもり関連商品は好調だが、外出機会の減少により衣料品の売上は悪い。集客イベントは一切開催の予定は無い。</p>
	電 気 機 械 器 製 造 業	<p>景況はあまり良くない。受注はあるが世界的な半導体不足の影響で部品が調達しにくく、納品が遅れる状態にある。半導体価格も上昇しており、現在は、発注元に受注価格の値上げ状況を確認し、了解を得ながら生産を実施している。この先の景況見通しは、半導体不足がどのように推移するかがわからないため予測ができない。求人については、高校との連携や会社見学等を実施した成果もあり、例年以上の新卒採用に結びついた。</p>
中播磨	飲 食 料 品 小 売 業	<p>緊急事態宣言の発令等により、家庭での時間が増えたことで、生活様式に変化がみられ、調理ニーズは増加している。一方で、来店回数を減らし、まとめ買いのスタイルは変わっていないものの、既存店舗の売り上げは競合が激しく、厳しい状態が続いている。</p> <p>このような状況の中、4月に新店をオープンし、従来の生鮮食品の味や品質を保ち、消費者の信頼を損なわないようにしつつ、新たな取り組みとして、近隣の店舗では取り扱っていないような嗜好性の高い商品の販売を開始し、売れ行きは堅調である。雇用については、生鮮部門の人材が不足しており、求人募集をしている。以前は求人するも応募が少なく苦慮していたが、現在は新卒も含めて一定の応募がある。今後は商品の自動精算システムの導入を検討している。</p>
	金 融 業	<p>地域の中小企業 448 社を対象としたアンケート調査の全業種業況判断指数 DI (4~6 月) では、業況判断 DI は昨年同期比でマイナス 68 から経済対策効果により 40 ポイントプラスのマイナス 28 まで回復し、回復局面にあったが、1 月に緊急事態宣言が発出された事により、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には及んでいない。</p> <p>業種別の業況判断 DI は、製造業では前期マイナス 49 から +16 ポイントと大幅に改善し、非製造業では前期</p>

中播磨 (続き)		<p>マイナス 36 から 10 ポイント改善のマイナス 26 となり、不動産を除くすべての業種に改善がみられる。</p> <p>海外経済の影響が国内景気に好影響を与え幅広い業種で景気の回復の追い風となったが小売業のうち、特に飲食店での業況の回復が遅れている。</p> <p>「来期の見通し」について、全業種総合の予想業況判断DI は、マイナス 1 ポイント後退のマイナス 29 となり小幅悪化する見通しである。</p>
西播磨	宿泊業	<p>春の緊急事態宣言が解除となり R3.6 月からは予約も順調で宿泊客も戻っている。予約については夏休みお盆位までは既に埋まっている状況。8 月中旬からの赤穂市の宿泊助成キャンペーンが 10 月末まで利用出来るように申請している。設備投資についてもコロナの関係での設備投資の助成範囲内で投資する予定。夏から複数のイベントを打ち出し、集客努力を行なっている。また、緊急事態宣言が発出されることなく、このまま好調が続いて欲しいと願っている。</p>
	無機化学製品製造業	<p>健康・調味部門での熱中症対策商品の売行きは特に目立つ動きではなかった。化成品事業部からは昨年よりも凍結防止剤がよく利用された。機能材事業部からは自動車の塗料や電子部品での半導体防止剤が注目されつつある。全体の業況としてはさほど良くなく、この先も状況はそんなに変わっていないと予想している。予算についても抑えるところは抑え、必要な部分（設備投資）にまわすよう検討している。</p>
但馬	道路旅客運送業	<p>景況感は悪い。コロナ禍前と比較してバスが 2,000 台減便し、2 億円の損失。指定管理施設の利用者数も大幅に減少しているが、グランピング施設の利用者数は変動がない。旅行内容の見直し、貸切バス事業の強化、新商品の開発を行い、コロナ後を見据えた準備を行う。バスの運行以外の分野にも力を入れる。高速バスの運転手を路線バスの運転手に変更する等、体への負担を軽減させる取り組みを行い、高年齢者が働き続けられる環境を整備する。</p>
	その他業	<p>景況感はさほど良くない。コロナ禍のみが直接要因ではないが、7.8.9月の全体の売上は前年度と比較して減少する見通し。石油製品や紙の価格が上昇し、業界にマイナスの影響を与える。有給休暇の時間単位取得に取り組んでいるが、1日単位で取得する人が多い。従業員は 48 人であり、中途採用で入社した人が 95.8% を占め</p>

		<p>る。</p> <p>正社員とキャリアを積んで再任用された人、それぞれの対応についてバランスをとるのが難しい。</p>
丹波	生産用 機械器具 製造業	<p>コロナの影響で海外の縫製工場の生産活動が停滞したことにより工業用ミシンの売上げは一時期 80%以上落ち込んでいたが、信頼度の高い日本製品の需要の高まりと親会社の地道な営業活動が実り、今期(7-9月)の受注は前年同期と比較して 420%、売上は 300%程度増加する見込み。コロナ前と比べても景況感が良い。</p> <p>採用面では、生産量の回復を受けて新たな人材確保が必要となってきているが、先行きが不透明なことから現在のところ求人は見送っている。</p>
	各種 卸売 品業	<p>コロナ禍で飲食店の売上が大幅に減少し、今期決算(3月)は経常利益で 1,000 万円程度のマイナスとなったが、休業・時短協力金や各種補助金、融資等の公的支援に助けられた。今期(7-9月)は、売上、利益とも前年同期と比較して 20%程度増加する見込み。</p> <p>今年度は、設備の老朽化と年間を通じた業務の平準化に対応するため、総工費 6,000 万円をかけて加工工場をリニューアルする計画で、設備投資額は対前年 200%増となる見込み。</p>
淡路	食料 製造 品業	<p>度重なる緊急事態宣言の発出により、旅館や飲食店及び観光地での需要の低迷が続いており、業務用・土産用商品の受注は大きく減少している。宣言が解除され僅かながら業務用商品は回復してきているが景況感が悪く、今後についてもコロナの影響により当面は見通しが良くない。また、対面商談が制限される中、リモート商談なども取り入れ効率的・積極的な営業活動に取り組んでいる。</p>
	金融 業	<p>当金融機関、取引先企業とも景況感はやや良くない。昨年はゼロゼロ融資などコロナ関連融資が多く利用され運転資金は充足されており、今年度は伴走型経営支援などアフターコロナを見据えた融資の利用が見込まれるが、件数・金額とも昨年比 30%減と見ている。個人向け融資では、利用していた個人事業主の多くが、コロナ関連融資で資金を確保したこともあり前年比 10%減となっている。また、地域の観光業は落ち込みが大きく回復には時間を要する状況である。</p>

令和3年7月 県民局・県民センター調査

Ⅲ. 景況調査

Ⅰ. 景況調査について

○『D.I (ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I. 値は－10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

(対象期間内における有効回答数)

	エリア	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
景気動向調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	437 件					
	東播磨地域 ^{※1}	178 件					
	姫路地域 ^{※2}	149 件					
	朝来・神崎地域 ^{※3}	87 件					
景気動向調査 ※業種別調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	163 件	44 件	60 件	64 件	78 件	28 件
	東播磨地域 ^{※1}	66 件	16 件	21 件	25 件	31 件	19 件
	姫路地域 ^{※2}	49 件	24 件	22 件	20 件	27 件	7 件
中小企業景況調査 (福崎町商工会)	-	1 件	0 件	2 件	3 件	1 件	0 件

※1…加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

※2…姫路市

※3…朝来市、神河町、市川町、福崎町

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 概況（全業種総合）

《但陽信用金庫》

概況（全業種）	(437社) 全地域			(178社) 東播磨地域			(149社) 姫路地域			(87社) 朝来・神崎地域			
	2021年1月 ～3月期	2021年4月 ～6月期 (今回)	2021年7月 ～9月期 (予想)	2021年1月 ～3月期	2021年4月 ～6月期 (今回)	2021年7月 ～9月期 (予想)	2021年1月 ～3月期	2021年4月 ～6月期 (今回)	2021年7月 ～9月期 (予想)	2021年1月 ～3月期	2021年4月 ～6月期 (今回)	2021年7月 ～9月期 (予想)	
業況 D.I.	▲31.51	▲24.31	▲24.83	▲36.16	▲36.16	▲27.53	▲25.83	▲30.41	▲25.17	▲31.03	▲21.84	▲19.54	
売上額 D.I.	▲25.80	▲18.54	▲14.91	▲29.94	▲29.94	▲21.35	▲21.85	▲24.83	▲14.19	▲26.44	▲5.75	▲9.20	
収益 D.I.	▲25.80	▲15.33	▲15.40	▲31.64	▲31.64	▲23.03	▲18.54	▲21.48	▲13.51	▲28.74	▲5.75	▲11.63	
資金繰り D.I.	▲2.28	▲0.46	▲1.61	▲3.95	▲3.95	▲4.49	0.66	▲3.36	0.00	▲4.60	3.45	▲2.33	
前年比残業時間 D.I.	▲18.26	▲8.92	▲8.03	▲23.16	▲23.16	▲11.80	▲22.52	▲10.74	▲6.04	▲8.05	▲6.90	▲8.14	
人手過不足 D.I.	▲12.56	▲12.59	▲13.53	▲8.47	▲8.47	▲9.55	▲17.22	▲12.08	▲14.77	▲9.20	▲6.90	▲9.30	
前年 同月比	売上額	▲36.76	▲13.76	-	▲37.85	▲37.85	-	▲33.11	▲17.57	-	▲43.68	▲1.15	-
	収益	▲36.76	▲14.45	-	▲37.29	▲37.29	-	▲30.46	▲12.84	-	▲47.13	▲8.05	-

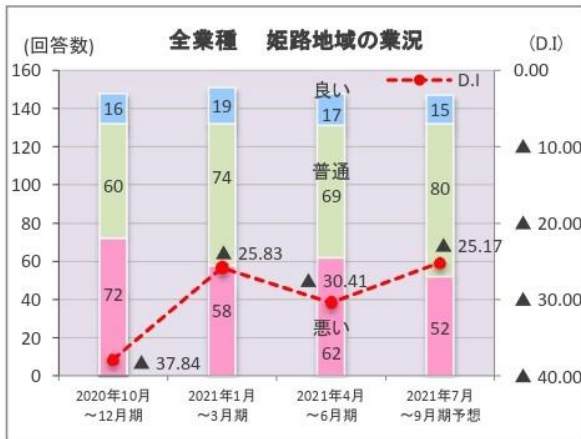
[2021年4月～6月期実績]：全地域の景況感は依然低迷しているものの、若干持ち直しが見られる。

当期の全地域・全業種における業況D.Iは▲24.31と、前期比7.2ポイント改善し、厳しい状況ながら、前期に続き2020年4～6月期以降4期連続の改善となりました。地域別では、東播磨地域、朝来・神崎地域で改善が見られますが、姫路地域はやや悪化しています。また、業種別では、全体的に依然として厳しい状況が続いていますが、製造業・不動産業・小売業・卸売業が上向き、コロナウイルスの影響が大きいサービス業や、建設業は低下しています。人手過不足D.Iは、▲12.59と前期から0.03ポイント低下し、依然厳しい水準となっています。地域別では東播磨地域は低下しているものの、姫路地域と朝来・神崎地域では人手不足感が若干緩和しています。

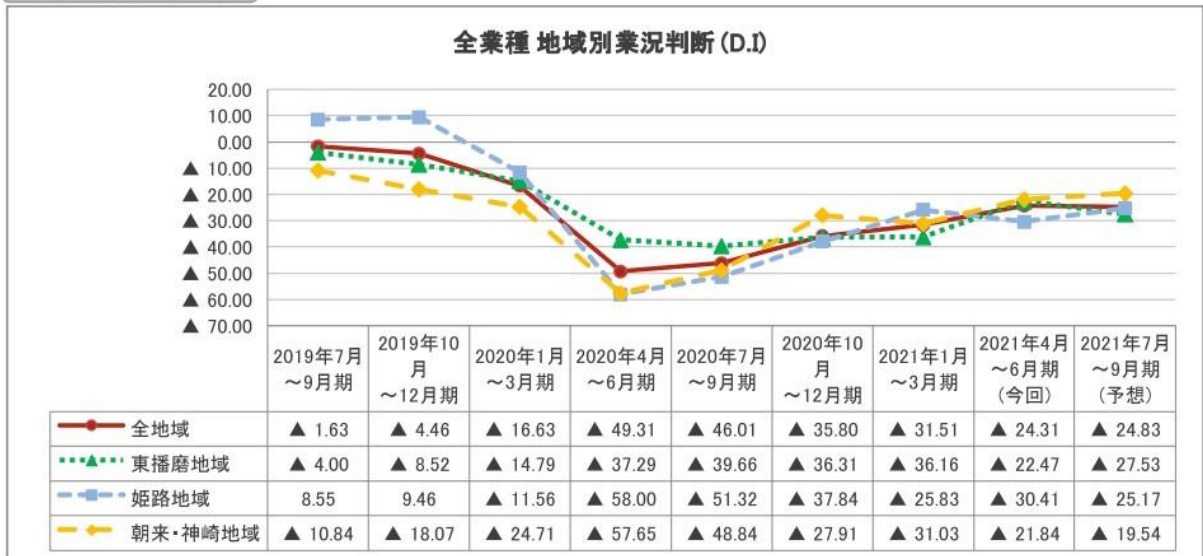
[2021年7月～9月期予想]：全地域で若干の景気悪化が予想されるも、姫路地域、朝来・神崎地域では回復の見通し。

来期の全地域・全業種における予想業況D.Iは▲24.83で、今期から0.52ポイント悪化する予想です。地域別では、東播磨地域が悪化予想、姫路地域、朝来・神崎地域が改善予想になっています。また、業種別ではサービス業・不動産業・卸売業が改善、建設業が横這い、製造業・小売業が悪化予想となり、人手不足D.Iは、▲13.53と0.94ポイント悪化すると予想されています。これは調査時に緊急事態宣言が延長されていたことから、来期の景況予想が不透明な状況下であり、先が見えず模索している状態とみられます。6月21日に緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行しましたが、引き続き対象地域では営業時間や入場制限がかかっており、経済活動に影響を与えています。また、大規模接種会場や職域接種などで、新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化し、感染終息への期待が高まる一方で、感染力の強いインド株の感染拡大や、感染者数が増加に転じてオリンピック開催を迎えることなど、第5波への懸念がぬぐい切れない状況になっています。

地域別業況



地域別業況の推移



《福崎町商工会》

(全業種)	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期予想
業況	0.00	▲ 42.86	▲ 14.29
売上額	14.29	28.57	▲ 14.29
収益	▲ 28.57	▲ 14.29	▲ 14.29
売上単価	▲ 14.29	14.29	▲ 14.29
仕入単価	0.00	0.00	0.00
資金繰り	0.00	0.00	▲ 14.29
従業員	14.29	▲ 28.57	▲ 28.57
外部人材	14.29	0.00	▲ 14.29

[2021年4～6月期]：上昇傾向にあるが依然マイナスの厳しい状況

当期の業況D.Iは▲42.86となり、前期から▲42.86ポイント下降しました。

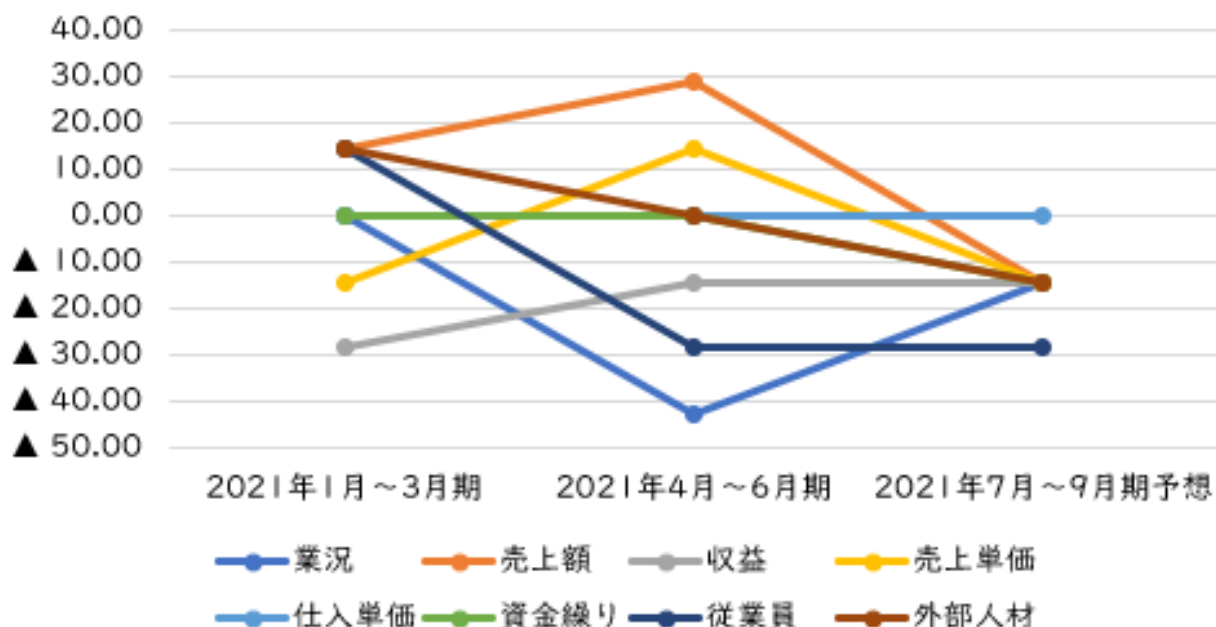
また、従業員に関するD.Iが低下と厳しい状況、一方で売上額・収益に関するD.Iは上昇しました。

[2021年7～9月期]：依然マイナスの厳しい状況

来期の予想業況D.Iは▲14.29で上昇予想です。ただし、マイナスであることには変わりがなく、依然厳しい業況の予想です。

売上額・売上単価・外部人材・資金繰りに関するD.Iが下降する予想です。

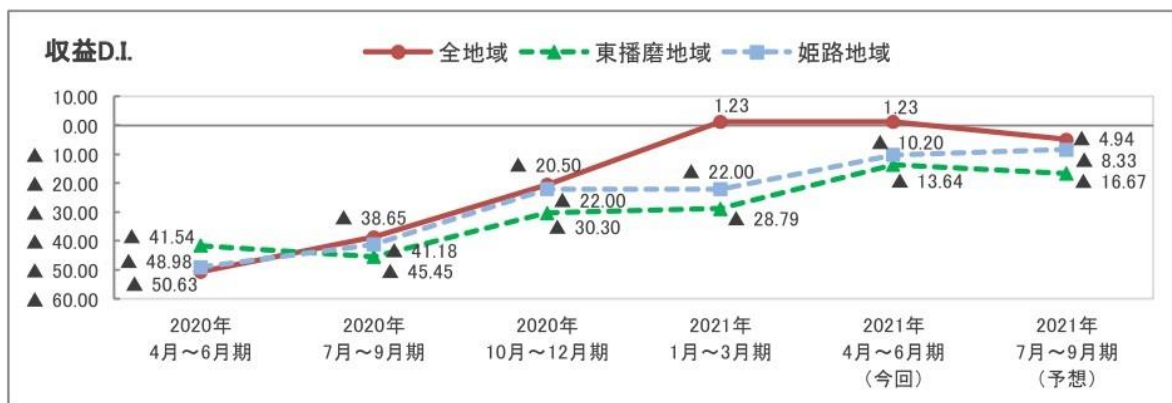
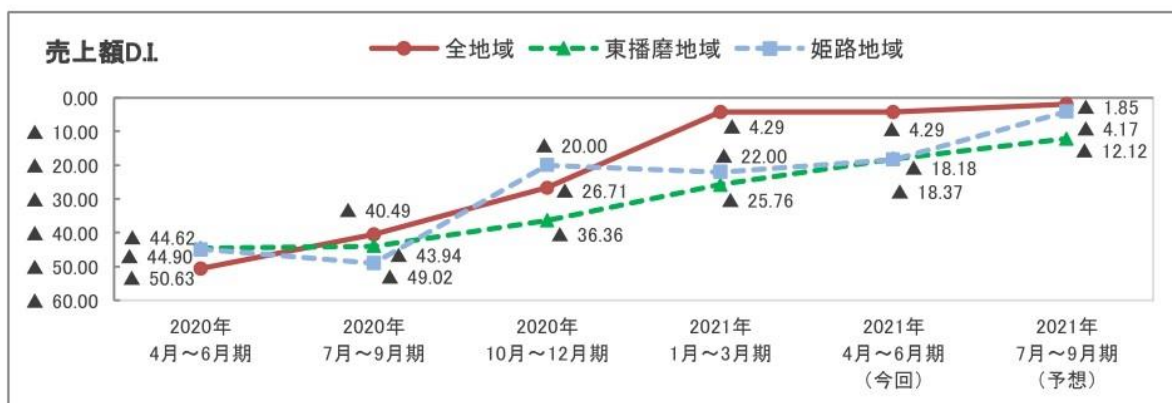
全業種D.I



3. 業種ごとの集計《但陽信用金庫》

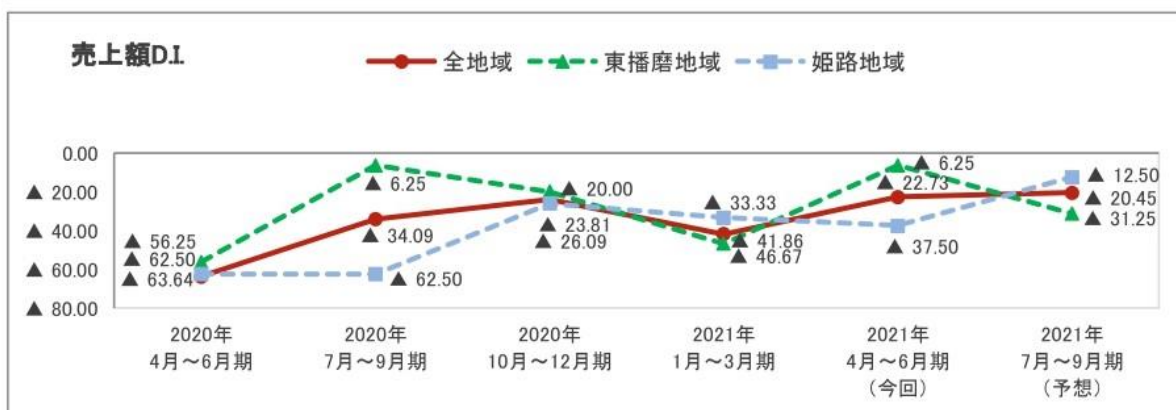
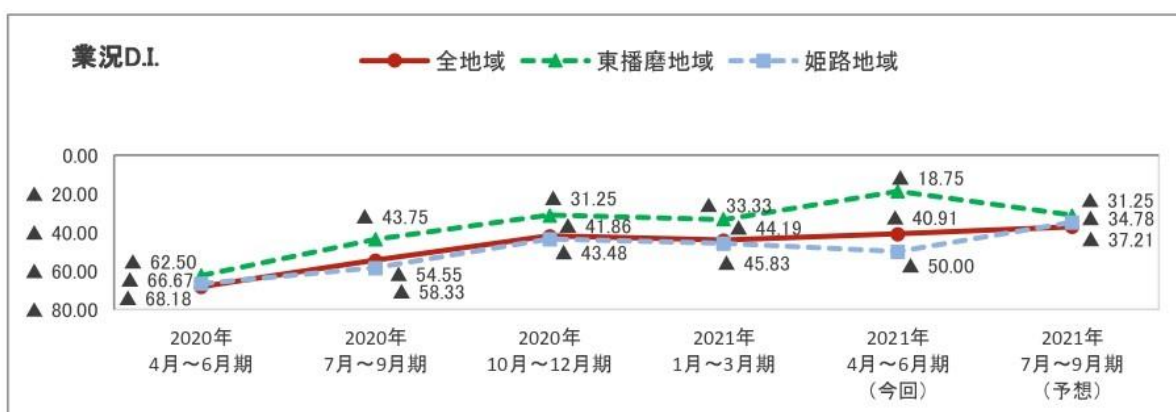
(1) 製造業

製造業	全地域 (163社)			東播磨地域 (66社)			姫路地域 (49社)		
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期 (今回)	2021年7月~9月期 (予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期 (今回)	2021年7月~9月期 (予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期 (今回)	2021年7月~9月期 (予想)
業況 D.I.	▲11.66	▲11.66	▲14.11	▲42.42	▲13.64	▲22.73	▲24.00	▲26.53	▲16.33
売上額 D.I.	▲4.29	▲4.29	▲1.85	▲25.76	▲18.18	▲12.12	▲22.00	▲18.37	▲4.17
受注残 D.I.	▲5.52	▲5.52	▲6.17	▲24.24	▲16.67	▲16.67	▲14.00	▲18.37	▲8.33
収益 D.I.	1.23	1.23	▲4.94	▲28.79	▲13.64	▲16.67	▲22.00	▲10.20	▲8.33
販売価格 D.I.	▲3.07	▲3.07	▲1.85	▲3.03	▲7.58	▲3.03	6.00	▲8.16	▲4.17
原材料価格 D.I.	22.09	22.09	20.99	16.67	19.70	15.15	24.00	26.53	25.00
原材料在庫 D.I.	▲3.68	▲3.68	▲5.56	4.55	1.52	0.00	▲2.00	▲8.16	▲8.33
資金繰り D.I.	0.61	0.61	▲1.23	▲9.09	▲6.06	▲7.58	2.00	▲8.16	▲2.08
前年比残業時間 D.I.	▲5.52	▲5.52	▲6.17	▲31.82	▲7.58	▲12.12	▲24.00	▲8.16	▲2.04
人手過不足 D.I.	▲14.72	▲14.72	▲14.81	▲1.52	1.52	0.00	▲30.00	▲18.37	▲16.33
設備 D.I.	▲12.88	▲12.88	▲14.72	▲10.61	▲7.58	▲6.06	▲22.00	▲8.16	▲14.29
設備投資実施割合	26.63	26.63	36.05	23.53	17.65	27.94	16.00	20.41	33.33
前年同期比	売上額	▲4.29	-	▲48.48	▲16.67	-	▲28.00	▲6.12	-
	収益	▲4.91	-	▲45.45	▲13.64	-	▲28.00	▲8.16	-



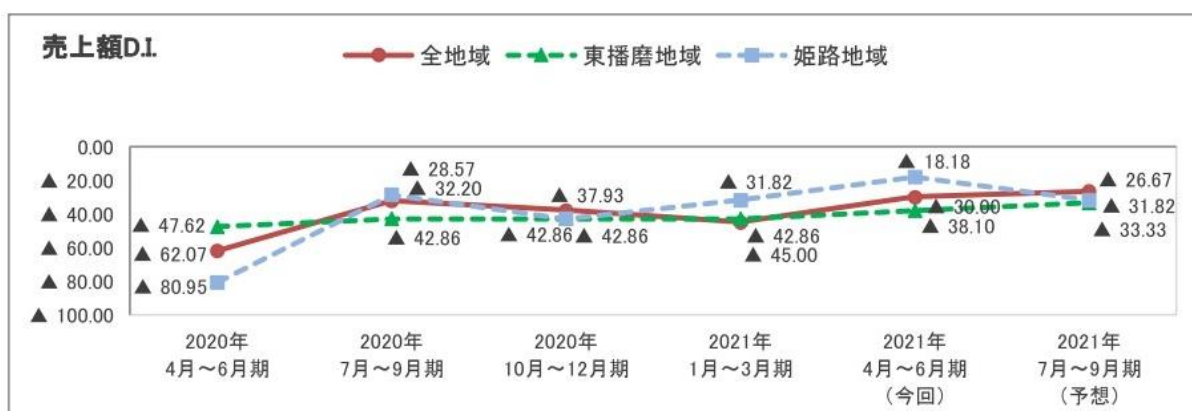
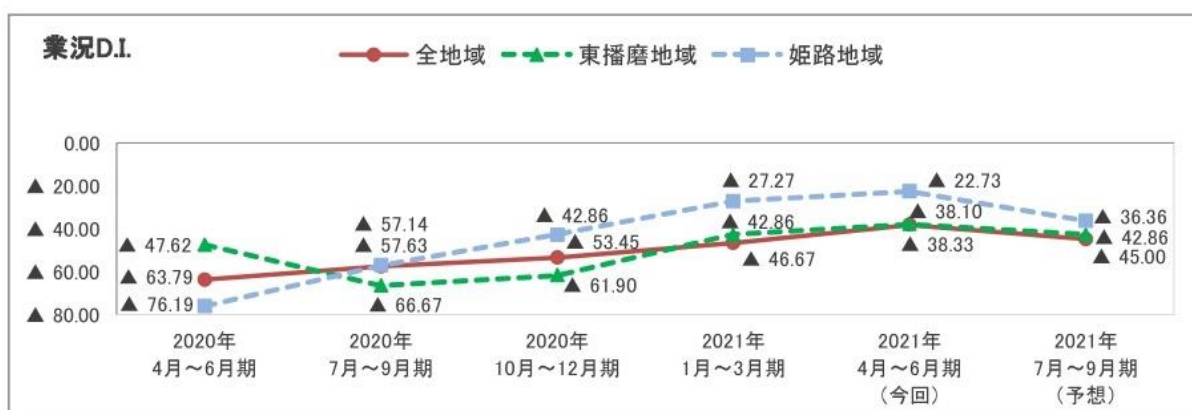
(2) 卸売業

卸売業	(44社) 全地域			(16社) 東播磨地域			(24社) 姫路地域			
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	
業況D.I.	▲44.19	▲40.91	▲37.21	▲33.33	▲18.75	▲31.25	▲45.83	▲50.00	▲34.78	
売上額D.I.	▲41.86	▲22.73	▲20.45	▲46.67	▲6.25	▲31.25	▲33.33	▲37.50	▲12.50	
収益D.I.	▲44.19	▲18.18	▲15.91	▲53.33	0.00	▲25.00	▲33.33	▲37.50	▲12.50	
販売価格D.I.	▲4.65	0.00	▲4.65	6.67	6.25	▲13.33	▲8.33	▲4.17	0.00	
仕入価格D.I.	6.98	20.45	11.36	13.33	37.50	12.50	4.17	12.50	12.50	
在庫D.I.	6.98	2.27	▲6.82	13.33	0.00	▲6.25	4.17	4.17	▲8.33	
資金繰りD.I.	▲13.95	▲4.55	▲4.55	▲20.00	6.25	0.00	▲8.33	▲16.67	▲8.33	
前年比残業時間D.I.	▲23.26	▲6.82	▲6.82	▲20.00	▲18.75	▲18.75	▲33.33	▲4.17	0.00	
人手過不足D.I.	▲9.30	▲9.09	▲9.09	▲20.00	▲12.50	▲6.25	▲8.33	▲8.33	▲12.50	
設備D.I.	▲2.33	▲6.82	▲9.09	6.67	▲6.25	▲6.25	▲8.33	▲8.33	▲12.50	
設備投資実施割合	25.00	9.30	16.28	25.00	6.25	6.25	28.57	13.04	26.09	
前年同期比	売上額	▲51.16	▲34.09	-	▲40.00	▲12.50	-	▲50.00	▲41.67	-
	収益	▲46.51	▲22.73	-	▲40.00	▲12.50	-	▲41.67	▲25.00	-
	販売価格	▲2.33	▲2.27	-	6.67	▲6.25	-	▲8.33	0.00	-



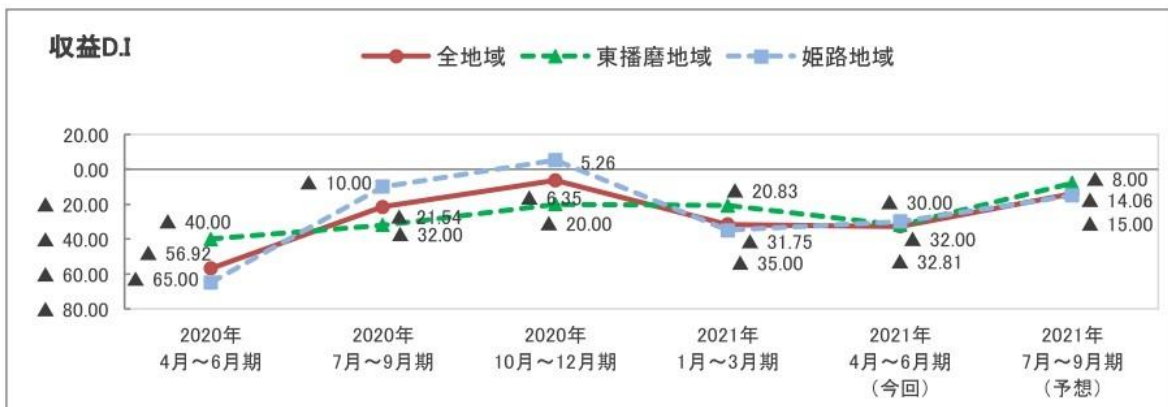
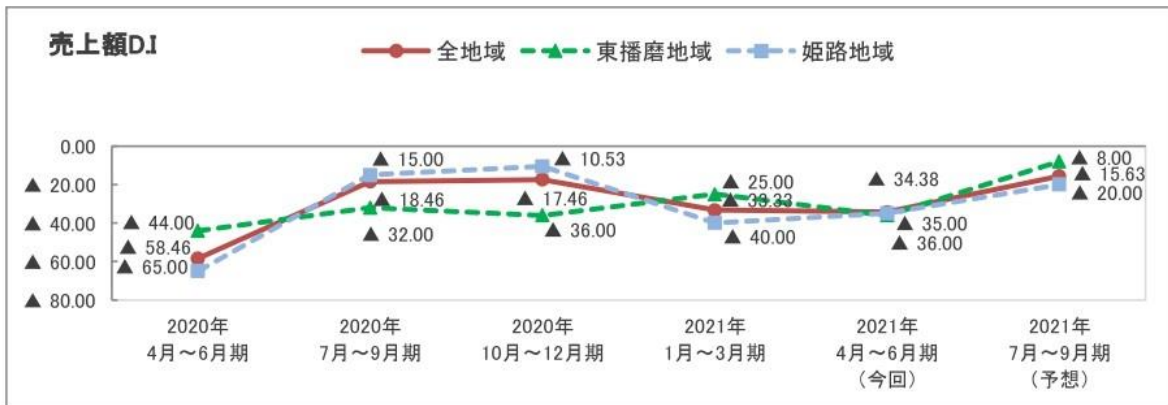
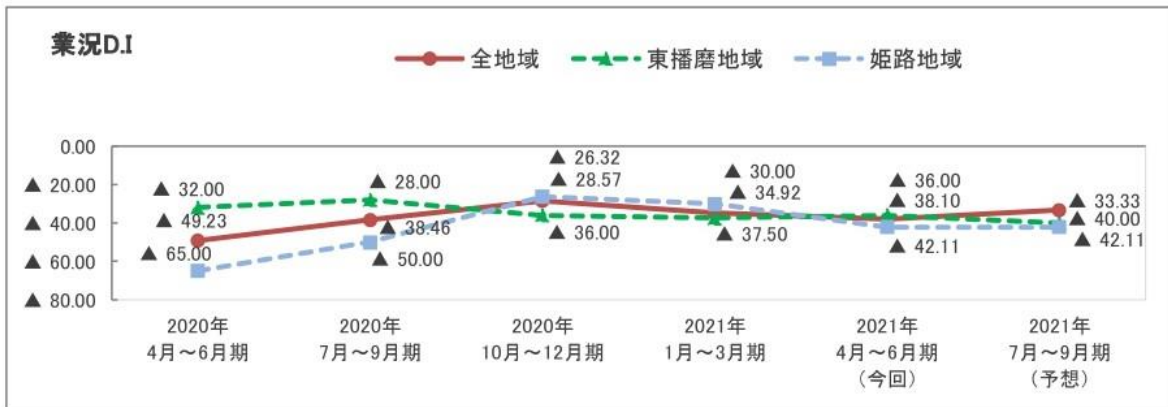
(3) 小売業

小売業	(60社) 全地域			(21社) 東播磨地域			(22社) 姫路地域			
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	
業況 D.I.	▲46.67	▲38.33	▲45.00	▲42.86	▲38.10	▲42.86	▲27.27	▲22.73	▲36.36	
売上額 D.I.	▲45.00	▲30.00	▲26.67	▲42.86	▲38.10	▲33.33	▲31.82	▲18.18	▲31.82	
収益 D.I.	▲40.00	▲30.00	▲23.73	▲47.62	▲42.86	▲33.33	▲18.18	▲13.64	▲22.73	
販売価格 D.I.	0.00	▲6.67	▲8.33	▲9.52	▲14.29	▲23.81	4.55	▲4.55	▲4.55	
仕入価格 D.I.	10.00	0.00	3.33	0.00	▲9.52	▲9.52	22.73	9.09	13.64	
在庫 D.I.	▲5.00	0.00	▲1.67	▲9.52	4.76	▲4.76	0.00	▲4.55	0.00	
資金繰り D.I.	5.00	▲3.33	▲5.00	4.76	▲9.52	▲9.52	13.64	13.64	9.09	
前年比残業時間 D.I.	▲8.33	▲5.00	▲3.33	▲14.29	▲9.52	▲4.76	▲4.55	▲4.55	▲4.55	
人手過不足 D.I.	▲3.33	▲11.67	▲10.00	▲4.76	▲14.29	▲14.29	0.00	▲4.55	▲4.55	
設備 D.I.	▲8.33	▲13.33	▲15.00	▲9.52	▲14.29	▲19.05	▲4.55	▲13.64	▲9.09	
設備投資実施割合	10.17	15.52	12.28	15.00	20.00	10.53	9.09	14.29	9.52	
前年同期比	売上額	▲43.33	▲26.67	-	▲23.81	▲33.33	-	▲40.91	▲27.27	-
	収益	▲41.67	▲28.33	-	▲33.33	▲38.10	-	▲31.82	▲13.64	-
	販売価格	▲3.33	1.67	-	▲4.76	▲4.76	-	▲9.09	▲9.09	-



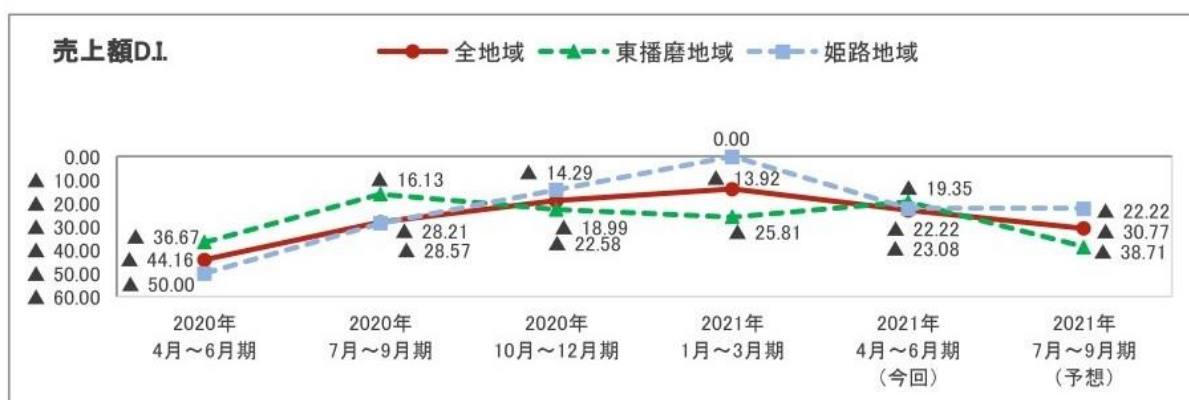
(4) サービス業

サービス業	(64社) 全地域			(25社) 東播磨地域			(20社) 姫路地域			
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	
業況D.I.	▲34.92	▲38.10	▲33.33	▲37.50	▲36.00	▲40.00	▲30.00	▲42.11	▲42.11	
売上額D.I.	▲33.33	▲34.38	▲15.63	▲25.00	▲36.00	▲8.00	▲40.00	▲35.00	▲20.00	
収益D.I.	▲31.75	▲32.81	▲14.06	▲20.83	▲32.00	▲8.00	▲35.00	▲30.00	▲15.00	
料金価格D.I.	1.59	▲4.69	0.00	0.00	▲8.00	▲4.00	5.00	▲5.00	10.00	
材料価格D.I.	9.52	4.69	3.13	12.50	▲4.00	▲4.00	15.00	10.00	10.00	
資金繰りD.I.	▲1.59	▲1.56	▲1.56	0.00	▲4.00	0.00	▲5.00	▲5.00	▲5.00	
前年比残業時間D.I.	▲20.63	▲10.94	▲14.06	▲25.00	▲16.00	▲20.00	▲25.00	▲15.00	▲15.00	
人手過不足D.I.	0.00	1.56	▲1.56	12.50	▲4.00	0.00	▲5.00	0.00	▲5.00	
設備D.I.	▲3.17	▲7.94	▲7.94	0.00	0.00	0.00	▲5.00	▲25.00	▲25.00	
設備投資実施割合	31.88	40.28	23.88	20.00	25.93	19.23	31.82	50.00	30.00	
前年同期比	売上額	▲39.68	▲14.29	-	▲33.33	▲20.00	-	▲50.00	▲10.53	-
	収益	▲38.10	▲12.70	-	▲33.33	▲24.00	-	▲45.00	0.00	-



(5) 建設業

建設業	(78社) 全地域			(31社) 東播磨地域			(27社) 姫路地域			
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	
業況D.I.	▲15.19	▲23.08	▲23.08	▲19.35	▲22.58	▲22.58	▲17.86	▲25.93	▲18.52	
売上額D.I.	▲13.92	▲23.08	▲30.77	▲25.81	▲19.35	▲38.71	0.00	▲22.22	▲22.22	
受注残D.I.	▲13.92	▲26.92	▲28.21	▲19.35	▲25.81	▲29.03	▲7.14	▲22.22	▲18.52	
施工高D.I.	▲13.92	▲21.79	▲24.36	▲22.58	▲32.26	▲35.48	0.00	▲18.52	▲7.41	
収益D.I.	▲18.99	▲20.51	▲33.33	▲29.03	▲22.58	▲41.94	0.00	▲25.93	▲22.22	
請負価格D.I.	▲10.13	▲15.38	▲17.95	▲12.90	▲19.35	▲29.03	▲7.14	▲14.81	▲11.11	
材料価格D.I.	1.27	33.33	37.18	3.23	25.81	19.35	0.00	25.93	40.74	
在庫D.I.	▲2.53	▲8.97	▲11.54	▲3.23	▲9.68	▲12.90	▲3.57	▲11.11	▲14.81	
資金繰りD.I.	▲6.33	0.00	▲1.30	3.23	0.00	▲3.23	▲7.14	▲3.70	0.00	
前年比残業時間D.I.	▲18.99	▲21.79	▲14.10	▲19.35	▲16.13	▲12.90	▲28.57	▲25.93	▲14.81	
人手過不足D.I.	▲22.78	▲20.51	▲25.64	▲22.58	▲29.03	▲35.48	▲25.00	▲18.52	▲25.93	
設備D.I.	▲5.06	▲5.13	▲6.41	0.00	0.00	0.00	▲7.14	▲14.81	▲18.52	
設備投資実施割合	26.14	26.51	25.61	17.65	9.38	9.38	17.24	28.57	29.63	
前年同期比	売上額	▲26.58	▲14.10	-	▲32.26	▲12.90	-	▲21.43	▲14.81	-
	収益	▲32.91	▲23.08	-	▲35.48	▲32.26	-	▲25.00	▲18.52	-



(6) 不動産業

不動産業	(28社) 全地域			(19社) 東播磨地域			(7社) 姫路地域		
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)
業況D.I.	▲20.69	▲14.29	▲10.71	▲35.00	▲21.05	▲15.79	14.29	0.00	0.00
売上額D.I.	▲17.24	▲21.43	▲10.71	▲30.00	▲21.05	▲21.05	14.29	▲28.57	14.29
収益D.I.	▲10.34	▲21.43	▲10.71	▲25.00	▲21.05	▲21.05	28.57	▲28.57	14.29
販売価格D.I.	0.00	0.00	▲3.57	0.00	▲5.26	0.00	0.00	14.29	▲14.29
仕入価格D.I.	13.79	14.29	3.57	20.00	15.79	10.53	0.00	14.29	▲14.29
在庫D.I.	▲10.34	▲7.14	▲14.29	▲5.00	▲5.26	▲15.79	▲28.57	▲14.29	▲14.29
資金繰りD.I.	6.90	7.14	7.14	0.00	0.00	0.00	28.57	28.57	28.57
前年比残業時間D.I.	▲6.90	0.00	0.00	▲10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人手過不足D.I.	▲24.14	▲17.86	▲14.29	▲30.00	▲21.05	▲10.53	▲14.29	▲14.29	▲28.57
前年同期比	売上額 ▲17.24	▲7.14	-	▲30.00	▲5.26	-	14.29	▲14.29	-
	収益 ▲10.34	▲7.14	-	▲20.00	▲5.26	-	14.29	▲14.29	-

